

令和 8 年第 8 回久米島町議会定例会一般質問

令和8年9月9日～9月11日

令和8年第8回9月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質 問 者	質 問 事 項	質 問 日 程
1	田端 努	1. 本町の防災に対する取り組みについて	9月9日(水)
		2. 本町の観光施設等のトイレのバリアフリー化について	
2	赤嶺秀徳	1. 儀間川の環境について	
		2. 道路環境について	

令和8年第8回9月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	幸地 猛	1. タイ原池の整備及び謝名堂川河川の改修について	
		2. 畑地かんがい施設(管路・スプリンクラー等)の再整備について	
		3. くみき(イーフ地区)の跡地利用について	
2	盛本 實	1. 宿泊税の活用について	
		2. 離島交通の安定化について	
		3. 市町村民所得の増加と町民生活の相関関係について	
		4. 道路の維持管理について	

3	保久村 登	1. 本町が令和2年度から4年度までの間に実施した防災行政無線デジタル化工事(本件工事)に関する国庫補助金過大請求事案について
4	喜久里 猛	1. RAC欠航便について
		2. 久米島観光を今一度問う
		3. 郵便切手の取り扱いについて

9月10日(木)

5	富永 肇	1. スポーツキャンプや大会の開催誘致及びスポーツ施設について
		2. 企業版ふるさと納税について
		3. 久米島町野生動植物保護について

令和8年第8回9月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質 問 者	質 問 事 項	質 問 日 程
1	真栄平 建正	1. 久米島町総合計画について	
2	棚原 哲也	1. 港湾整備について	

3	宇江原 総清	1. 鳥島射爆撃場と政治	9月11日(金)
		2. 本町のバーデハウス、風の森及び仲里郵便局の閉鎖と人口減少について	
4	新垣 幸子	1. 公共工事の発注について	
		2. 琉球エアーコミューター(RAC)の運航状況について	
		3. 公立久米島病院医師確保について	

令和8年第8回9月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨
13	田端 努	1. 本町の防災に対する取り組みについて	7月28日16時27分に熊本県において、地震の規模がマグニチュード7.1の「令和8年熊本地震」が発生しました。熊本県では10年前の平成28年にも同様のマグニチュード7を観測する地震が起きており、このことから当該行政や各自治体においては地震に対する様々な対策を講じてこられたようです。それにも拘らず、今回の地震の被災時や被災後にも多くの課題があったと聞きます。本町においても今一度地域防災計画など防災に対する取り組みを、本町の現状にあった形で見直す必要があると思われるため、以下の点について伺います。 (1) 以前に町長は防災に対して全庁あげて取り組むと答えていたが、どのように組織化されているか伺う。 (2) 去る6月に久米島防災士の会「島抱護の会」が設立されたが、本町との提携について話し合いはされているか、またその他ボランティア団体（事業所など）と同様に話し合いを持ったことがあるか伺う。 (3) 災害被災時の体制として、福祉避難所として開設できる公的施設や民間の施設はあるか伺う。 (4) 前回質問した久米島斎場の災害時の活用について進展はあるか伺う。 (5) 国は防災庁の創設に向けて進めていると聞いている。災害に対する自治体の対応力適正値を算出した政府指針案も示されているようだが、本町行政としての見解を伺う。
		2. 本町の観光施設等のトイレのバリアフリー化について	観光関連施設や、その他主要施設などの身障者用（多目的）トイレの設置状況の改善が必要な個所があると思われるため以下の点について伺います。 (1) 行政が管理する多目的トイレはどの施設に何か所設置されているか伺う。 (2) オストメイト対応のユニバーサルトイレは何か所設置されているか伺う。 (3) 比屋定バンタ展望台の多目的トイレは歩道の勾配があり車いすでの利用がし辛い。駐車場から直接乗り入れ出来るよう改善出来ないか伺う
12	赤嶺秀徳	1. 儀間川の環境について	儀間川の環境について、令和8年3月議会をはじめとしてこれまでも何度となく質問して来た。残念なことに全く環境改善に至っておらず、年を追うたびに環境の悪化がみられる。その対策について、3点伺う。 (1) 堆積土砂の浚渫について伺う。 (2) 水質調査について伺う。 (3) マングローブの立ち枯れの原因究明について伺う。
		2. 道路環境について	本町の主要幹線道路及び町道の環境は劣悪である。中央線、車道外側線、停止線の殆どが消滅して視認できない状況にある。また、町道に関しても安全施設の損壊を放置するなど、その視認性に欠ける箇所が多々見受けられる。4点伺う (1) 道路行政について、町長の見解を伺う (2) 県道の今後の対策について伺う (3) 町道の今後の対策について伺う (4) 視認できない案内標識等の対策について伺う

令和8年第8回9月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨
6	幸地 猛	1. タイ原池の整備及び謝名堂川河川の改修について	県農林水産部と南部市町村との行政懇談会において町はタイ原池及び謝名堂川河川の整備についての要望事項として、次のように要望しております タイ原池については、儀間川総合開発事業で整備予定であったが、平成24年に事業の中止が決定され、その後未整備の状況である。そのため施設の老朽化等により、堤体の間知ブロックが倒壊し、貯水が出来ない状況になっており、農業用水の安定供給に支障をきたし、さらに堤体決壊による災害も想定される。 また、降雨時に発生する洪水で周辺地域が被害を受けているため、二級河川である謝名堂川の改修も含めて、県関係部局と連携を図り、タイバル池及び流域の整備を図る必要があるという要望をしています。 これに対して、県の措置方針としてはタイ原池については、復帰以前に整備され、昭和54年度から58年度にかけて、県営ため池等整備事業により改修されているものの、施設の老朽化が進行しており、令和2年度に防災重点農業用ため池として指定したところで、県としましては、タイ原池の防災減災対策に向けて久米島町と連携して取り組んでまいりますという。 県は、タイ原池の防災減災対策に向けて久米島町と連携していくということですが、これまで県と協議を行ったことは。行っているのであれば、ということについて協議を行っているのか。
		2. 畑地かんがい施設(管路・スプリンクラー等)の再整備について	仲里中部地区の畑地かんがい施設は、昭和52年から昭和62年にかけて県営かんがい排水施設で整備されているが、完了から30年以上も経過していることもあり、管路・スプリンクラーの破損が多く発生し、農業用水の安定供給に支障をきたしている。 また、漏水による路面陥没や管路補修期間の道路通行止めなど社会に与える影響や、施設の管理主体である仲里土地改良区の維持管理に要する労力や費用負担等が大である。よって、農業用水の安全供給のための施設整備が必要であるということで町は、県に要望事項として提出しています。 県の措置方針では、仲里中部におきましては、管路、スプリンクラー等の老朽化対策について、現在、久米島町と事業化に向けて、検討を行っているところである。県としましても、引き続き、久米島町及び仲里土地改良区と連携して、事業化に向けた取組を推進してまいりますという。 事業化に向けた取組について、県、町、仲里土地改良区とどういう連携をとって推進していくことになるのか。

令和8年第8回9月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨
		3. くみき(イーフ地区)の跡地利用について	イーフ地区の株式会社くみきの移転が決まり、町の久米島観光振興の拠点として整備がなされていくものと思いますが、町長は観光、防災関係、避難タワー的なもの、ターミナル的なものを建設したいという考えを述べています。整備を推進するにあたって次のことについて伺います。 (1) 用地購入の進捗状況について。 (2) 所信表明の複合型避難ビルの整備とは。 (3) 跡地利用計画は隣接する農地(農振地域)も含めて検討してはどうか。 (4) 計画作成のあたっては町の経済5団体を含めた検討会議を持つ必要はないか。
8	盛本 實	1. 宿泊税の活用について	令和9年2月から沖縄県の宿泊税が導入されることを踏まえ、久米島町として宿泊税をどのような考え方で活用していくのか伺う。単に観光振興事業の財源とするのではなく、観光による経済波及効果を町内に循環させ、町民所得の向上や雇用創出、さらには人口減少対策につなげるべきではないかと考えますが、町長の見解を伺う。
		2. 離島交通の安定化について	最近、航空路線の欠航、遅延が多いと町民や観光客・ビジネス関係者から不満の声が多い。現状とその対策について伺う。
		3. 市町村民所得の増加と町民生活の相関関係について	県統計課は、2023年度の県市町村民所得(県民所得)を公表した。1人当たりの市町村民所得は41市町村すべてで増加した。 町民所得の増加を、単なる経済指標の改善で終わらせず、町民の暮らしの豊かさ、幸福度、そして人口減少の抑制にまでつなげるため、町長は今後4年間で何をKGIとし、どのようなKPIを設定して取り組むのか伺う。
		4. 道路の維持管理について	本町内にある道路(例えば県道・町道・農道)の維持管理は適切なのか伺う。

令和8年第8回9月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨
			1 図の事実関係は間違いないか。 (1) 本町は、本件工事の予定価格の算定に当たっては、沖縄県土木建築部策定の「土木積算基準」等により積算することとしていた。 (2) 本町は、本件工事に関する会計検査院による検査を受け、同院から、土木積算基準についての理解が十分でなかったこと、及び補助対象事業費の積算に対する確認が十分でなかったことにより、予定価格の積算に当たって、①ケーブル等の敷設に係る労務費を過大に積算し、②補助対象事業費に係る諸経費の積算を誤り、4,110万円もの過大積算をし、うち30,825,000円の国庫補助金相当額が不当であるとの判定を受けた。 (3) 町長は、令和5年8月13日決裁文書により、会計検査院に対し、上記指摘をそのとおりと認め、遺憾の意を表した。 (4) 町長は、久米島町議会令和6年12月定例会に上記不当判定を受けた国庫補助金相当額30,825,000円を国庫への返還金として計上した補正予算案を提出し、承認を受けたが、その財源は一般財源であった。 (5) 町長は、令和7年1月7日決裁文書により、沖縄防衛局長に対し、国庫補助金返還額30,825,000円を令和7年2月中旬に返還したい旨申請し、その頃同金額を返還した。 (6) 本町は、本件工事の予定価格の積算算定業務を、那覇市所在の設計監理会社KKに委託したが、KKは上記の通りの誤った積算により予定価格の算定を行い本町に報告提出した。本町の担当者を初め決裁責任者らはこの誤りを見逃し、久米島町長は、これに基づき策定した補助金交付申請手続きを行なった。 (7) 本件工事は、那覇市所在の施工会社Hが請け負ったが、Hは本件工事を契約通りに完成し、本町に引き渡した。その際、本件工事には何らの瑕疵も認められなかった。 (8) ア 本町は、設計監理会社KKとは令和6年4月17日以降、施工会社Hとは令和6年4月23日以降、令和6年4月30日以降は三者間で、国庫補助金返還金の協議を行なった。 イ 協議当初の段階では、KKは、設計書の過大積算で迷惑をかけたことを認めたが、返還額については600万円が限度であると主張し、 ウ Hは、「施工的な瑕疵はなく、会社としての非はなく、返還金としての原資も対応できない」と回答した。

令和8年第8回9月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨
7	保久村 登	1. 本町が令和2年度から4年度までの間に実施した防災行政無線デジタル化工事（本件工事）に関する国庫補助金過大請求事案について	エ これに対し、本町の職員は、「今後の関係を維持することを確認」、「議会への説明」などを口にして譲歩を促し、業者側から提案された「1／3ずつ」の案を「現実的でない、議会への説明等で承諾できる可能性が低い」として斥け、次いで「業者4, 5, 町1」の案も、「議会への説明等で承諾できる可能性も低い」と両者に譲歩を迫り、ついに、令和6年8月7日、業者側から「H6, KK4, 町0」の提案を引き出し、同月15日に「負担割合をH6, KK4, 町0」と確認する旨合意を取り付け、令和6年10月7日には「確認書」（本件確認書）が作成された・ オ ところが、町側が起案した本件確認書には、負担割合の対象として、これまでの協議の対象となっていた「補助金返還金30, 825, 000円」ではなく、「過大となった事業費」と記載されていた。この金額は39, 523, 000円である。 2 起票日令和7年1月20日の調定決議書（調定通知書兼収入命令）2通について (1) 副町長までの決裁があるが、町長の決裁はない。なぜか。 (2) 調定の法的根拠は何か。 (3) 調定額の計算が、三者協議の対象となっていた「補助金返還金額」ではなく「全事業費額」となっているようだが、その理由、根拠は何か。 3 業者からの納入金の処理について 令和6年度の決算においてどのように処理したか。その理由と根拠は何か。 4 本件確認書は、本町と施工業者及び設計監理会社間の互譲による紛争解決を図る「和解」の性質を有するものであり、地方自治法96条1項12号の決議が無い限り無効である。したがって、町が業者から徴収した金員は法律上の根拠を欠く不当利得であり、将来、業者から返還訴訟を提起されれば利息付きで返還せねばならないリスクを抱え込んでいる。 なぜ、地方自治法を無視し、このようなゆがんだ無効な確認書による闇の処理に及んだのか。 また、令和6年の12月定例会で国への返還金の補正予算を議会に諮った際、10月に作成されたこの確認書の存在を議会に隠蔽したのはなぜか。 5 予定価格の算定ミスという重大な債務不履行があった設計監理会社KKに対して指名停止処分をせず、債務不履行に基づく損害賠償請求もしない理由は何か。 本件の後、町はKKに対して特別な配慮をしていないか。同社との間で新たに締結した契約の内容及び契約金額を明らかにされたい。 6 本件に関する職員の懲戒処分、町長及び副町長の管理監督責任について、町長の見解を求める。 7 本件に関する必要で適切な再発防止策を講じたか。町長の見解を求める。 8 本件に関する町民やマスコミへの公表の在り方について、町長の見解を求める。

令和8年第8回9月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨
3	喜久里 猛	1. RAC欠航便について	去る7月17日のRAC欠航便について行政はどのような対応をしたか。 (1) 抗議に行ったか。またそのメンバーは。 (2) 今後の対応について回答があったか
		2. 久米島観光を今一度問う	(1) 島の観光については私なりに観光客が増えていると思うが今年度の上半期通常と比べて観光客は増えているか。外国人が多い気がするが、どうか。 (2) 今後の観光について指摘や要望の多い案内板の件はどうなったか。 ①新規設置・立て替え・撤去等。 ②兼城ターミナルの冷房や駐車場の取り扱い ③周囲の除草等
		3. 郵便切手の取り扱いについて	行政も委託契約に基づき郵便切手等の販売ができると思うが、町民サービスとして郵便切手等の販売を実施したらどうか。
2	富永 肇	1. スポーツキャンプや大会の開催誘致及びスポーツ施設について	スポーツキャンプの受け入れや大会の開催は経済効果が大きいと考えます。誘致や施設の改修、機能強化について伺います。 (1) スポーツキャンプの受け入れ予定の状況は (2) 東北楽天ゴールデンイーグルス春季キャンプの予定は。 (3) リトルシニア久米島メモリアルカップの開催予定は。 (4) 離島甲子園の本町での開催誘致は行っているか。 (5) 久米島野球場のスコアボードの改修予定は。 (6) 多目的グラウンドの全天候型舗装(タータン)の劣化があり、けがや事故につながる。改修予定と機能強化の予定は。
		2. 企業版ふるさと納税について	企業版ふるさと納税の活用は町の財政運営の一助となる。 取り組みについて伺います。 (1) 企業版ふるさと納税の制度概要を伺う。 (2) 本町の受け入れ実績の状況や分析を行っているか。 (3) 企業版ふるさと納税の企業への働きかけや、どのような取り組みを行っているか。 (4) 今後、どの事業に活用していくか伺う。
		3. 久米島町野生動植物保護について	本町は野生動植物保護条例が制定されているが、捕獲や島外への持ち出し等の対策を伺う。

令和8年第8回9月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨
5	真栄平 建正	1. 久米島町総合計画について	久米島町第2次総合計画の総括評価と第3次総合計画への反映について 久米島町第2次総合計画は、平成28年度から令和7年度までの10年間を計画期間として、町の将来像を実現するため、様々な施策が実施されてきました。 本年度からは、令和8年度を初年度とする第3次総合計画がスタートし、今後10年間の町政運営の基本的な方向性が示されています。 第2次総合計画で掲げた施策について、計画どおり実施されたもの、十分な成果が得られなかったものなどを検証し、その評価を第3次総合計画にどのように反映したのが重要であります。 そこで、以下について伺います。 (1) 第2次総合計画について、5年間（前期）10年間の施策・事業の実施状況と達成度をどのように総括・評価しているのか。 (2) 第2次総合計画において、特に成果が上がった施策と、目標を達成できなかった施策は何か。また、その要因をどのように分析しているのか。 (3) 第2次総合計画の評価・検証結果を、第3次総合計画の施策や重点事業にどのように反映したのか。 (4) 第3次総合計画の今後10年間において、特に重点的に取り組む施策は何か。また、その成果を測る具体的な指標や数値目標どのように検証するのか。 (5) 第3次総合計画を実効性のある計画とするため、毎年度の進捗管理と評価・検証をどのように行い、必要に応じて施策の見直しを行っていくのか。
1	棚原 哲也	1. 港湾整備について	本町の物流の拠点である兼城港はターミナルの新設や駐車場の整備等は進んでいるものの、港本来の最重要施設の港内の十二分な泊地の確保や水深の確保等が不十分である。改善に向けて取り組む考えがあるか伺う。

令和8年第8回9月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨
11	宇江原 総清	1. 鳥島射爆撃場と政治	高市首相は8月6日、広島の記事式典において「わが国は非核三原則を堅持しており」と現状を述べるにとどまった。歴代3名の首相は「非核三原則を堅持する」とこれからの姿勢を明らかにしてきた。「堅持している」と「堅持する」との意味合いは全く異なる。その前の7月に小泉防衛大臣は、核兵器を巡る論の必要性を訴えていた。部下に言わせてから、時宜を得てトップは本論に入る。政治・官僚の手法だ。日本は多量のプルトニウムを持ち、核兵器を造るにも容易と言われている。この高市と小泉の発言の連動と高市の「台湾有事は存立危機事態」との国会答弁、中国の習近平に対する宣戦布告だと私は見ている。 日本政府のこの環境は中国のみならず、戦争でたたかれたロシア・北朝鮮を戦争に再び巻き込む可能性も出てきた。但しアメリカは参戦しない。むしろ不可能だ。 しかしその環境の前にアメリカは嘉手納弾薬庫に保管されている40万発の劣化ウラン弾は鳥島射爆撃場に訓練使用するしかない。 そこで、町民の命を保護するための本根と危機管理能力が重要となる。町長に伺う。 (1) 町長はアメリカ公文書に鳥島射爆撃場の危険性を図示したバウンダリーズ（境界線）があること、そして米国民はその中に入るなどの警告もしているにもかかわらず「自然環境・住民への影響はない」とうそと隠蔽を繰り返してきたとみているがどうか。 (2) 劣化ウラン弾1, 520発を打ち込んでから31年になる。また、島に残存する放射性物質を250キロ爆弾の打ち込みをやめてから約8年になる。微粒子の拡散が少なくなったと思われる。その中で町長は、4年前の令和5年の市町村別で全体41団体の中から37位でガンの死亡率19.8%。前年の令和4年は34位、16.8%との数字を引用している。しかし11年前の平成7年に35位であったのが、その11年後の平成17年には10位。ワースト10位。当時は本町のガンの死者は異常だということになるがどうか。 (3) ・平成20年から平成30年までの年別の死者総数とガンによる死者数。 ・平成20年から平成30年までの年別、転出・転入者数はどうなっているのか。 (4) 本町の疫学調査について、集落毎の調査を求めたが、「環境調査や町民の健康結果から放射性物質の影響はない」と答弁しているが、数字上も影響は出ているのに何故隠蔽するのか。疫学調査はその結果、鮮明になるのにどうか。

令和8年第8回9月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨
		2. 本町のバーデハウス、風の森及び仲里郵便局の閉鎖と人口減少について	(1) バーデハウスに関し町長はバーデハウスすなわち「オーランド」の社長である。同ハウスは老朽化との答弁をしたが、築22年のコンクリート造りが短期間で老朽化するのか。又、機械室も雨水で同じく老朽化するのか。又、本件施設は約1億円で海洋深層水を導入した。長い期間休業しているのに社長としての責任を、町長はどのようにして責任を負うのか伺う。 (2) 「風の森」に関しては寄付された方から3億円、町予算で3億円、計6億円でコンクリートを打ち込んで建設をした。私は本件についても建設業者とのつながりでコンクリート施設が出来たと考えている。本件は大変な失敗事例で寄付された方へどう考えてきたか伺います。 (3) 仲里郵便局に関しては1年余り前から撤去される事を執行部に通知された。にもかかわらず、議会にも知らされなかった。私は偶然1か年経過してから仲里郵便局前に掲示された「一時閉鎖」の広告を見た。後日、儀間郵便局長に面談し、「仲里郵便局の代替地が近くにある」と申し入れたが逃げた。仲里郵便局は美崎校区の方々、特に年金受給者の方々から苦情がある。仲里郵便局の運用は近隣に再設するのか、伺う。
10	新垣 幸子	1. 公共工事の発注について	6月定例会一般質問にて、年間を通してランクごとに継続的な発注機会を配分する仕組み作りが重要であることを申し上げました。その他いくつかの提案をしましたが、建設業協議会からの意見を踏まえて検討していく、という回答でした。ここで4点伺います。 (1) 建設業協議会との意見交換会ではどのような話し合いがなされたのでしょうか。また、どのような要請があったのでしょうか、お伺い致します。 (2) 分離分割発注について、国県の補助事業を財源として事業を進捗する必要があることから、その事業内容、性質によって分離分割が難しい状況にあるとのことでしたが、町単独の事業については、いかがでしょうか。 (3) 「久米島町建設工事等競争入札参加者資格及び指名基準等に関する規程」の入札参加者第7条のただし書きに、当該等級該当者が少数である場合、その他必要がある場合においては、当該等級を基準とし、1級上下の等級該当者による競争入札の方法によることができる、とあります。 よって、請負工事金額がB級の金額の2,500万円以上4,000万円未満の場合、これまでのA級ではなく、C級から入れることについてはいかがでしょうか。 (4) 現在の町の発注標準となる請負工事金額を沖縄県の基準に変更することは可能でしょうか、ご見解を伺います。

令和8年第8回9月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨
		2. 琉球エアークommuter（RAC）の運航状況について	（1）機材の老朽化による故障等で欠航や遅延が相次ぎ 商工観光課離島の住民生活や経済活動に影響が生じたため7月15日に久米島町・南大東村・北大東村・多良間村・与那国町の5町村で国土交通省に支援の要請を行ったとのことですが、その後どのような回答が得られたのか町長にお伺い致します。 （2）RACが就航する離島路線のある箇所の過去3年間の欠航及び遅延状況（回数）について伺う。 （3）8月13日の琉球エアークommuter株式会社（RAC）による説明会では、「行事のある際は、前もって知らせてほしい。」とありました。しかし、そのこと以外にも町民の皆さまにとって、病院受診や出張等の大事な所用も考えられます。 今後もRACが就航する離島路線のある箇所の欠航及び遅延状況も十分確認し、改善されていない状況でしたら、3か月に1回でも抗議の行動を起こすことが大事だと思いますがご見解を伺います。

令和8年第8回9月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨
		3. 公立久米島病院医師確保について	沖縄県離島医療組合は、平成9年4月1日に設立されました。沖縄県と久米島町で構成する一部事務組合である組合が運営する公立久米島病院は、平成12年4月20日に開院し現在27年目を迎えています。 平成24年度から、公益社団法人・地域医療振興協会が指定管理者として、病院運営を行っており令和8年度で15年目となります。 ここで、5点伺います。 (1) 常設科の内科、小児科、外科、整形外科の常勤医師は何名ですか。あわせて、各々の常設科医師の人数は十分に配置されていますか。 (2) 更に内科医師の現況について、常駐医師、島外からローテーションで来島している医師は何名ですか。 (3) 地域枠制度とは、沖縄県と琉球大学が本県離島・北部の医療機関に勤務する明確な意思を持つ県出身学生を「地域枠」として選抜し、将来の離島・北部の医師として養成する制度であり、琉球大学医学部医学科に設けています。よって、島の将来を見据えて、地域枠の医師を確保するために、今から沖縄県へ要請していく必要があると思いますが、ご見解を伺います。 (4) 非常設科の診療科目と医師派遣の状況を伺います。 (5) 沖縄県、沖縄県離島医療組合、地域医療振興協会、公立久米島病院、久米島町が連携して年に何回会議を開催していますか。また、主な課題について伺います。